



このコンテンツは公開から3年以上経過しており内容が古い可能性があります  
最新情報については[サービス別資料](#)もしくはサービスのドキュメントをご確認ください

# [AWS Black Belt Online Seminar] Amazon QuickSight アップデート

サービスカットシリーズ

Amazon Web Services Japan  
Solutions Architect  
下佐粉 昭 (Akira Shimosako)  
2020/2/4

AWS 公式 Webinar  
<https://amzn.to/JPWebinar>



過去資料  
<https://amzn.to/JPArchive>



# 自己紹介

下佐粉 昭 (しもさこ あきら)

Twitter - [@simosako](https://twitter.com/@simosako)

所属 :

アマゾン ウェブ サービス ジャパン  
ソリューションアーキテクト

好きなAWSサービス:QuickSight, Redshift, S3 ...

人間が運用等から解放されて楽になるサービスが好きです



# AWS Black Belt Online Seminar とは

「サービス別」「ソリューション別」「業種別」のそれぞれのテーマに分かれて、アマゾンウェブ サービス ジャパン株式会社が主催するオンラインセミナーシリーズです。

## 質問を投げることができます！

- 書き込んだ質問は、主催者にしか見えません
- 今後のロードマップに関するご質問は  
お答えできませんのでご了承下さい

- ① 吹き出しをクリック
- ② 質問を入力
- ③ Sendをクリック



Twitter ハッシュタグは以下をご利用ください  
#awsblackbelt

# 内容についての注意点

- 本資料では2020年2月4日時点のサービス内容および価格についてご説明しています。最新の情報はAWS公式ウェブサイト(<http://aws.amazon.com>)にてご確認ください。
- 資料作成には十分注意しておりますが、資料内の価格とAWS公式ウェブサイト記載の価格に相違があった場合、AWS公式ウェブサイトの価格を優先とさせていただきます。
- 価格は税抜表記となっております。日本居住者のお客様には別途消費税をご請求させていただきます。
- AWS does not offer binding price quotes. AWS pricing is publicly available and is subject to change in accordance with the AWS Customer Agreement available at <http://aws.amazon.com/agreement/>. Any pricing information included in this document is provided only as an estimate of usage charges for AWS services based on certain information that you have provided. Monthly charges will be based on your actual use of AWS services, and may vary from the estimates provided.

# 本日のアジェンダ

- Amazon QuickSightの特徴
- アップデート
  - MLインサイト（機械学習インサイト）
  - 埋め込み
  - 表現力のアップデート
  - データ操作の改善
- まとめ

## 補足資料

- 料金体型とエディションの違い

# Amazon QuickSightの 特徴



# Amazon QuickSightの特徴



## サーバ運用管理不要・オートスケール

サーバやソフトウェアを導入、管理、運用する必要はありません。スモールスタートし、10,000ユーザまでスケール可能



## AWSとフル・インテグレーション

AWS内でエンド・ツー・エンドの分析を実現。プライベートVPCにセキュアにアクセス、アクセスコントロール、MLインテグレーション



## セキュアかつグローバル利用

エンド・ツー・エンドの暗号化、高可用性設計、グローバル10リージョン展開、HIPPA/PCI/ISO/SOC/FedRamp等適合



## 容易な開発とメンテナンス

QuickSightでデザインし、APIで連携。行レベルセキュリティ、SAML SSOによるシームレスな認証



## 高速で、一貫したパフォーマンス

高速で、常に一貫したパフォーマンスを提供。同時実行ユーザ数が増加しても、サービスがスローダウンしづらい設計



## 全員が活用できる料金体系

全ユーザに利用権限を与え、使った分だけの支払。事前コスト不要。利用しないユーザのコスト不要

New



## MLインサイト（機械学習インサイト）

コンテキストに関連したインサイトを提供。MLによる異常検出、予測、アラート、カスタマイズ可能なナラティブ



## カスタマイズと埋め込み

わずかな時間でアプリケーションに埋め込み、分析を実現。組み込みに膨大な作業は不要。テーマ機能でアプリケーション、企業イメージに適応

管理者

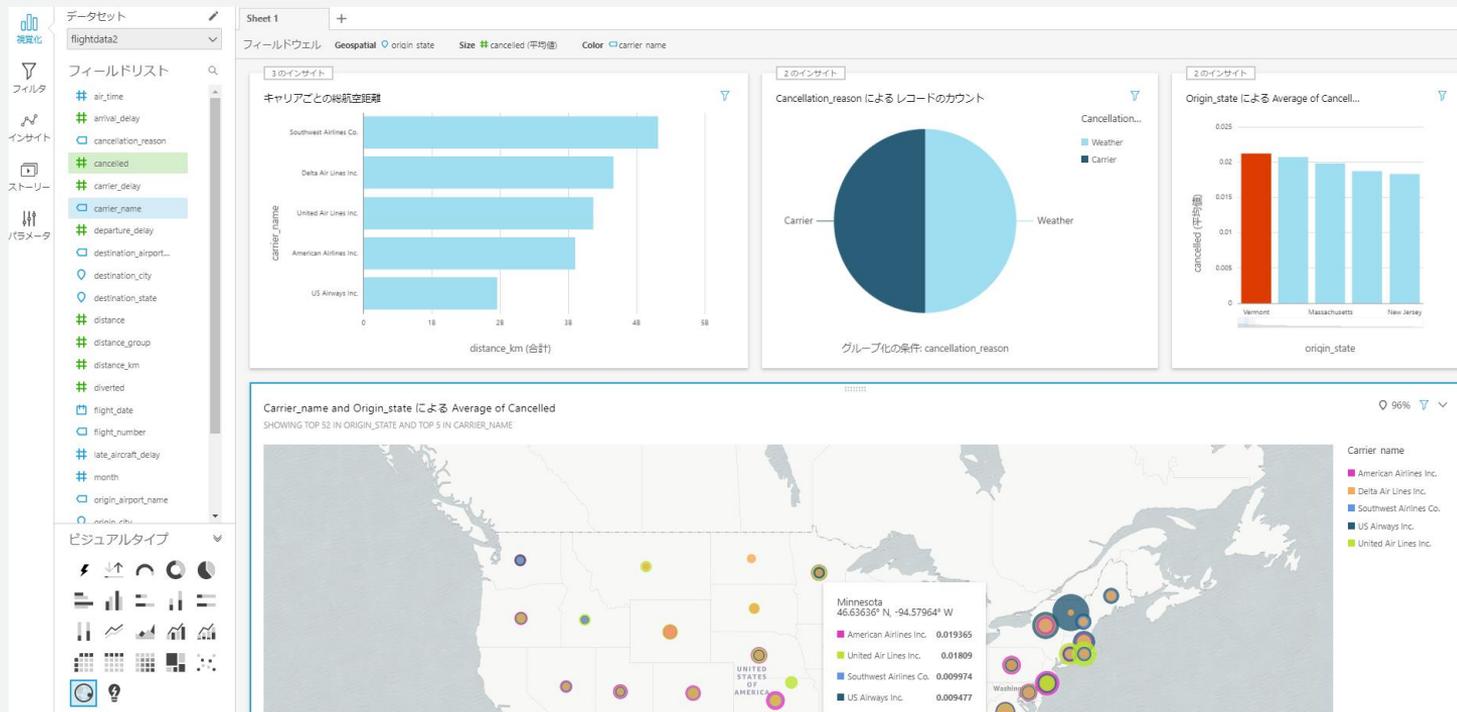
メリット

エンドユーザ

# ブラウザのみで全機能が利用可能

利用者も管理者もソフトウェアの導入は不要

ドラッグ&ドロップでの直感的な操作



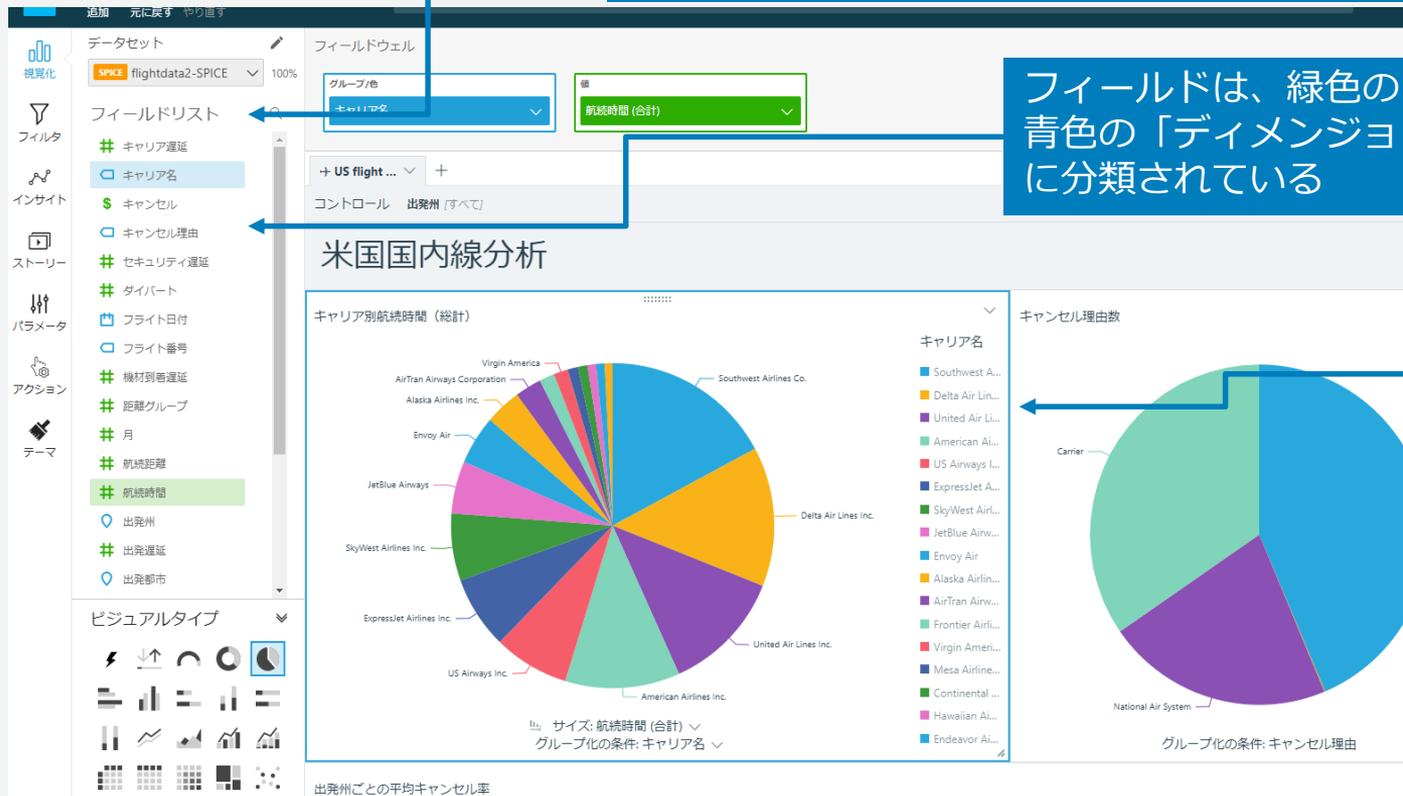
# 画面と用語

フィールドリスト (RDBでいう所の列の一覧)

フィールドは、緑色の「値」(分析対象)と青色の「ディメンジョン」(グルーピングの軸)に分類されている

ビジュアル (グラフ)

複数のビジュアルを組み合わせて「分析」を作成



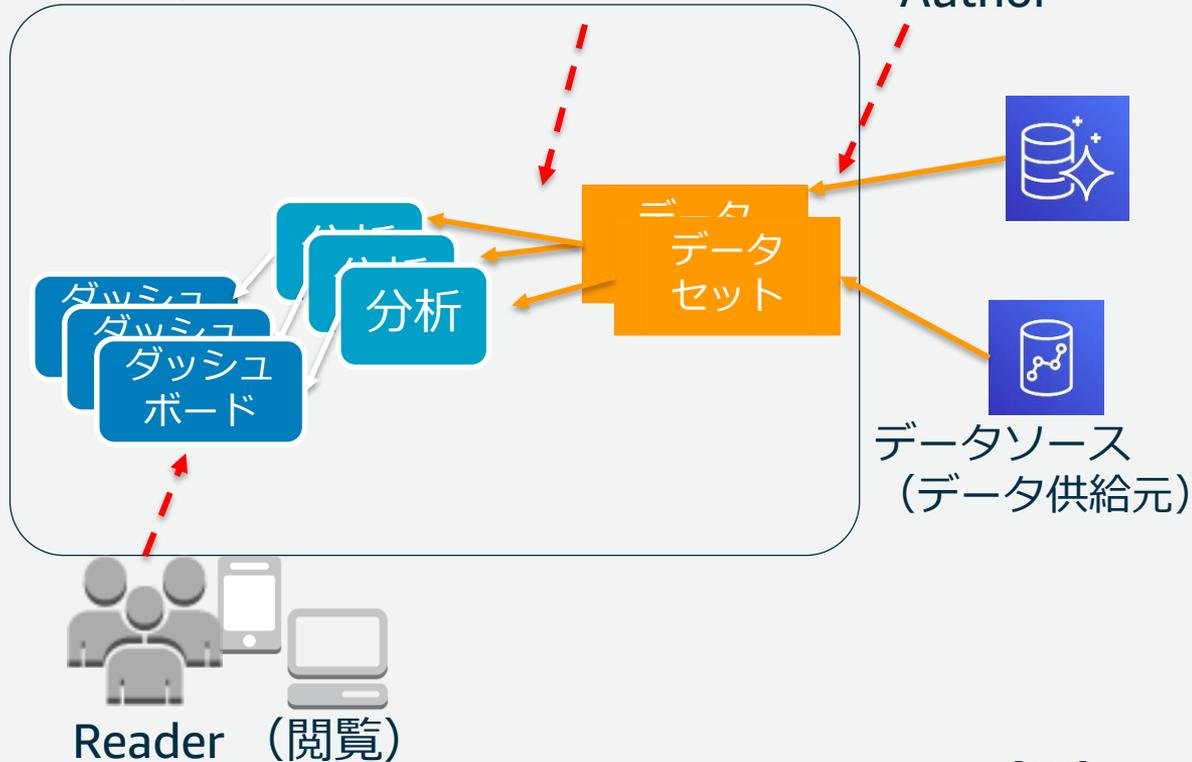
# 利用イメージと用語

管理者/Authorはデータソースを定義し、分析用のデータセットを準備する

Authorはデータセットを基に分析を作成、Readerにダッシュボードとして共有

Readerはダッシュボードをブラウザや、スマホから閲覧

QuickSight

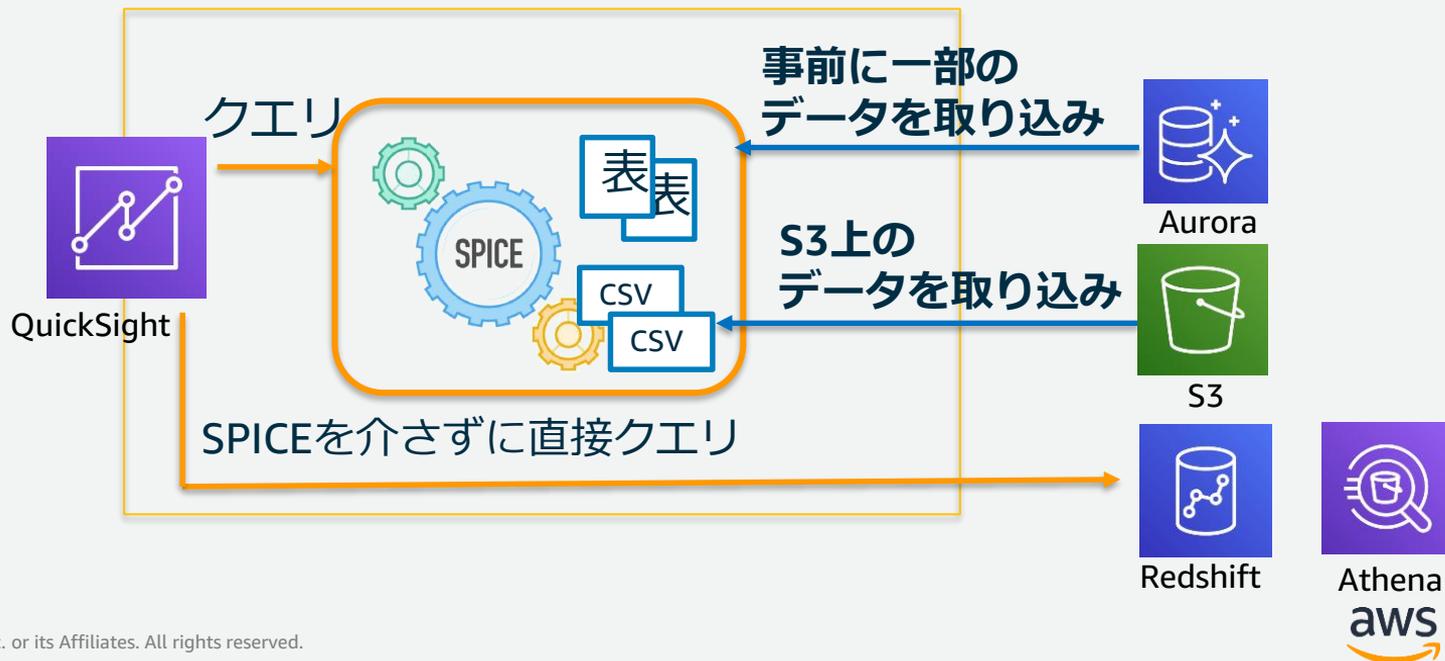


# 多様なデータソースに対応

|   |   |   |  |
|---|---|---|--|
|  <p>Upload a file<br/>(.csv, .tsv, .clf, .elf, .xlsx, .json)</p> |  <p>Salesforce<br/>Connect to Salesforce</p> |  <p>S3 Analytics</p>                 |  <p>S3</p>                                |
|  <p>Athena</p>   |  <p>RDS</p>                                  |  <p>Redshift<br/>Auto-discovered</p> |  <p>Redshift<br/>Manual connect</p>       |
|  <p>MySQL</p>  |  <p>PostgreSQL</p>                           |  <p>SQL Server</p>                   |  <p>Aurora</p>                            |
|  <p>MariaDB</p>  |  <p>Presto</p>                               |  <p>Spark</p>                        |  <p>Teradata<br/>Provided by Teradata</p> |
|  <p>Snowflake</p>  |  <p>AWS IoT Analytics</p>                    |  <p>GitHub</p>                       |  <p>Twitter</p>                           |
|  <p>Jira</p>   |  <p>ServiceNow</p>                           |  <p>Adobe Analytics</p>              |  |

# SPICE : 高速なインメモリカラムナデータベース

- SPICE = QuickSightに内蔵された、インメモリ型のデータベース
- S3やPC上のファイルや、RDBの一部をSPICEに取り込んで高速分析
- RDB上のデータは直接SQLを発行してアクセスも可能



# 「全員のBI利用」を実現する料金体系

- Enterprise EditionのReaderライセンスは、使った分だけの利用
- 使わなければゼロ円**。最大で\$5/ユーザ/月の上限
  - 機能が限定された小規模環境向けStandard Editionも用意 (Readerは利用不可)

Author 

データソース、データセットの作成と共有  
ビジュアル、ダッシュボードの作成と共有

**\$18**

/ ユーザー / 月  
年単位契約

\$24 / ユーザー / 月 (月単位契約)

Reader 

共有されたダッシュボードを閲覧

**\$0.30** 最大で **\$5**

/ セッション\* / ユーザー / 月

\*1 セッション = ログインから 30 分間

# QuickSightを無料で利用する

## Free Trial（試用期間）

- Standard EditionやEnterprise Editionを60日間無料で試用可能
  - 正確には2回の支払い締め日を迎えるまで利用可能
- SPICEを10GB利用可能
- 試用期間中のユーザ数は合計4名まで

## Free Tier（無料枠）

- 無料で期限無しに利用し続けることが可能（Enterprise Edition利用可）
- SPICEを1GB利用可能
- 無料枠で利用可能なユーザ数は1アカウントあたり1名のみ
- SPICEが不足した場合は利用料金を払うことで容量を追加可能

# 利用可能リージョンとGUIがサポートする言語

利用可能リージョン: (2020/2/4時点)

バージニア北部 シドニー

オレゴン 東京

アイルランド フランクフルト

オハイオ ロンドン

シンガポール ソウル New

GUIがサポートする言語: (2020/2/4時点)

- 英語、ドイツ語、スペイン語、フランス語、ポルトガル語、イタリア語、日本語、韓国語、中国語 (簡体字)、繁体字中国語



AWS Directory Service  
Microsoft AD

Custom Date Format

Dashboard Save As

Anomaly Detection Alerts

Readers

Groups

Private VPC

100M row  
SPICE tables

Spark and Presto Connector

Scheduled Refresh

Just In Time Provisioning

London & Frankfurt  
Regions

Search

Totals

Excel Custom Range

Federated SSO

Athena connector

Export to CSV

S3 Analytics

Week Aggregation

Aurora PostgreSQL

Calculations in SPICE

Cross Account  
S3 Access

Conditional  
Formatting

Sydney & Tokyo Regions

Row Level  
Security

Hourly refresh

ローンチ後の  
新機能リリース

10K Filter Values

ML  
Insights

KPI Chart

Spark Connector

Redshift Spectrum  
Support

AD Connector

Tabular Reports

Singapore Region

URL Actions

Filter Actions

Combo Charts

Embedded  
Dashboards

Geospatial Maps

Level Aware  
Aggregations

Parameters

Relative Date Filters

Filter Groups

Other Buckets

Snowflake Connector

SaaS Connectors

Teradata Connector

HIPAA

PCI compliance



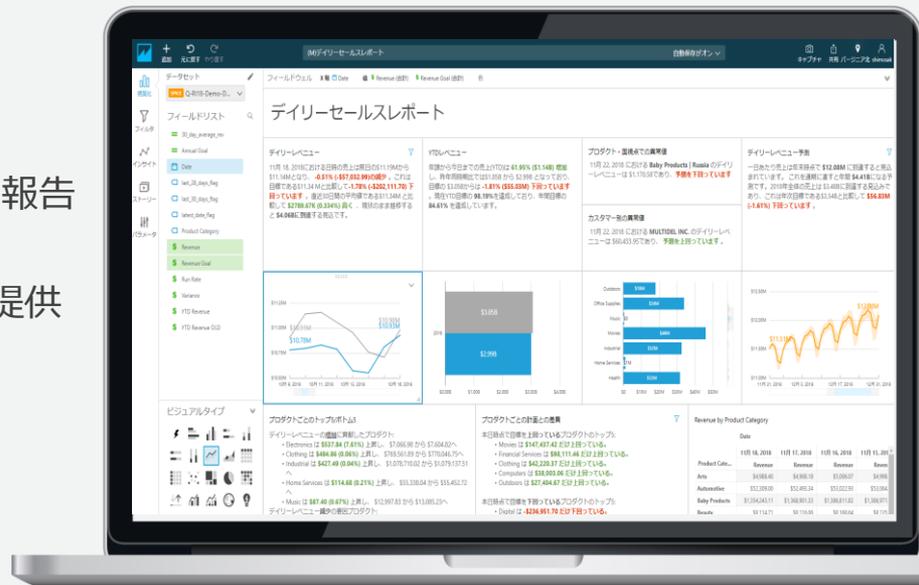
# MLインサイト (機械学習インサイト)



# MLインサイト - 機械学習ベースのインサイト

専門家不要で使える  
インサイト（洞察）機能を提供

1. MLベースの異常検知：自動的に異常値を発見し、報告
2. MLベースの予測：過去の値から将来を予測
3. 自動ナラティブ：分かりやすい文章で分析結果を提供



※異常検知には別途料金が必要です（無料トライアル枠あり）  
<https://aws.amazon.com/jp/quicksight/pricing/>

# 異常検知



Glance View



Virginia



Manage

Contributors



Glance Views for **Shopping > Physical > Video Games** increased from **1.9M to 3.0M** on June 10th, 2018 compared to the day before and is **1.1M (58%) higher than expected**.

Top contributors

Configure

Sort by

Deviation from expected contribution



Device Type  
% contribution

Glance Views  
DoD %Change

PS4  
38%

156% ▲

PC  
23%

325% ▲

Xbox One Hardware  
5%

127% ▲

Xbox One  
17%

170% ▼

Nintendo Switch  
3%

29% ▼

< Back to dashboard

Session Type: All

Product Group Type: All

Product Group: All

Device Type: All

Anomaly type: All

Significance Threshold: High

Sort anomalies by: Significance

## Glance View Metrics for June 10th 2018

SHOW ANOMALY FILTERS  
SHOW ANOMALIES BY DATE

There were 6 anomalies detected

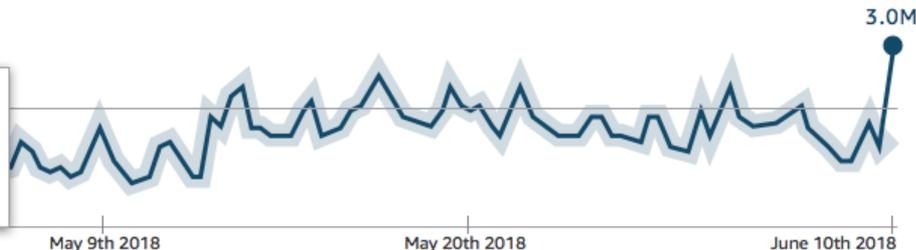
### MOST SIGNIFICANT ANOMALY

Shopping > Physical > Video Games

Anomaly Significance - High

3.5M

Glance view for **PS4** increased from **263K to 700K (+156%)**. It contributed to **38%** of the total increase for Shopping > Physical > Video Games, higher than the expected 14% contribution.



Shopping > Physical > Luggage

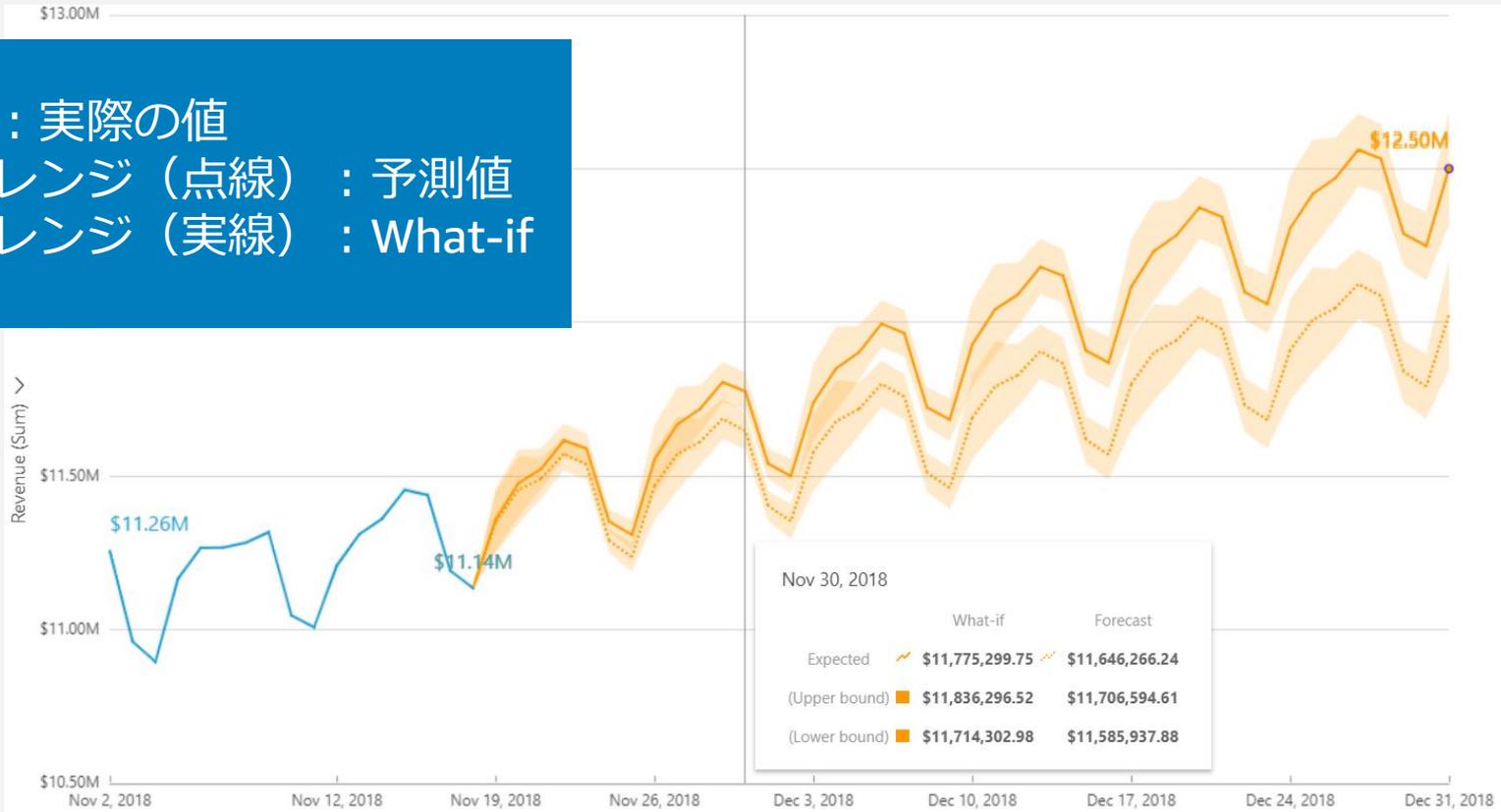
Anomaly Significance - High

1.5M

異常検知時にEメールでのアラート設定も可能

# 予測とWhat-if分析

- 青：実際の値
- オレンジ（点線）：予測値
- オレンジ（実線）：What-if



# 自動ナラティブ (文章で分析結果を表現)

デイリーレベニュー

Nov 18, 2018における日時の売上は前日の\$11.19Mから\$11.14Mとなり、**-0.51% (-\$57,032.99)の減少**。これは目標である\$11.34 Mと比較して**-1.78% (-\$202,111.70) 下回っています**。直近30日間の平均値である\$11.34M と比較して**\$2789.67K (0.334%) 高く**、現状のまま推移すると**\$4.06Bに到達する見込**です。

YTDレベニュー

プロダクト・国視点での集

### Configure narrative

References

- Computations
- Parameters
- Functions

Insert code Body 1 **B** *i* U ↺ **Abc** **Abc**

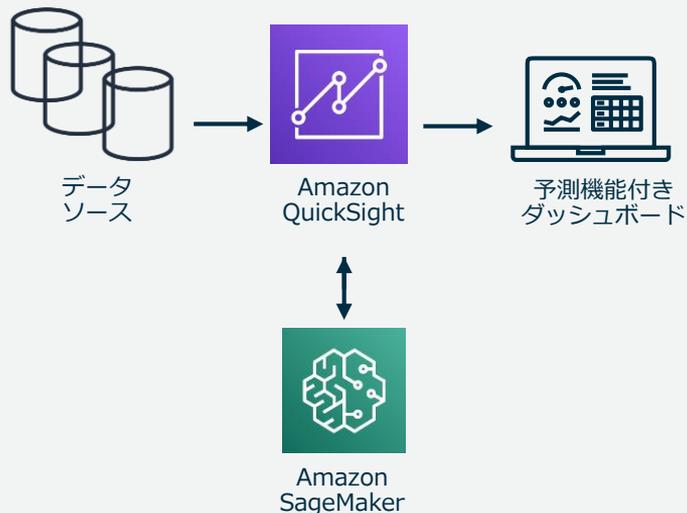
PeriodOverPeriod.cur... における日時の売上は前日の\$ round(PeriodOverPeri...  
\$ round(PeriodOverPeri... Mとなり、 **If** PeriodOverPeriod.per... **Period**  
**d.per... ( PeriodOverPeriod.abs... )の減少**。これは目標である  
\$ round(MetricComparis... Mと比較して **If** MetricComparison.per... **Met**  
**risson.per... ( MetricComparison.abs... ) 下回っています** **If** MetricCompa  
**r... MetricComparison.per... ( MetricComparison.abs... ) 上回っています**  
30日間の平均値である\$ round(MetricComparis... M と比較して **If** Period0  
**d.cur... \$ round((PoPDailyAvg.c... K ( round(1 - (PeriodOve... %) 低く**  
**OverPeriod.cur... \$ round((PeriodOverPer... K ( round((PeriodOverPer...**  
、現状のまま推移すると \$ round(PoPRunRate.cur... **Bに到達する見込**です。

+ Add computation Cancel

※ナラティブは標準では英語で表示されますが、ユーザ側でカスタマイズ可能です



# Amazon QuickSightとSageMakerの連携 (Preview)



ビルトインモデルに代えて、独自のモデルを利用可能に

SageMakerで作成した独自モデルと連携

ポイント&クリックで連携：コーディング不要

可視化とインサイトを高速化

ビルトインモデルが提供している  
時系列の異常検知、予測以外のモデルを利用可能に

# 事例： 異常検知を活用した 迅速なアクション

“ Amazon QuickSight の ML Insights 機能により、強力な機械学習がわずか数回のクリックで簡単に利用できます。これにより、当社の世界中のスマートデバイス群における予期しない利用状況をモニタリングでき、かつ利用状況のトレンド予測を継続的に行える他、これらの機械学習機能で生成されたインサイトを自動ナラティブとして取り込める包括的なダッシュボードをビジネスユーザーに継続的に提供することができます。

”

梅原直樹氏  
株式会社リコー  
グループリーダー

# RICOH

© 2020, Amazon Web Services, Inc. or its Affiliates. All rights reserved.



# 埋め込み (Embedded)



# Webサイトへのダッシュボード埋め込み

ダッシュボードをイントラネットやWebアプリ、会員制SaaSサービスに埋め込む機能

- フル機能のダッシュボードを埋め込み可能
- iFrameでの埋め込み
  - JavaScriptの埋め込み用ライブラリを提供
- 閲覧には、QuickSightへのサインインが必要
- ユーザIDによって表示するデータを変えたり（行レベルセキュリティ）デフォルト値を変える（ダイナミックデフォルト）事が可能

※QuickSightアカウントを持たない人は閲覧できないため、パブリックWebサイト向きではありません



<https://aws.amazon.com/jp/blogs/news/embed-interactive-dashboards-in-your-application-with-amazon-quicksight/>

# ダッシュボードを埋め込むための4ステップ

## Step 1: Amazon QuickSight

- QuickSightでダッシュボードを作成
- ユーザ・グループに共有
- 埋め込むドメイン名を登録

## Step 2: AWS Account

- IAMロールを追加し、このロールをユーザが利用(Assume)可能にする  
[quicksight:RegisterReader,  
quicksight:GetDashboardEmbedUrl]

## Step 3: Application server

- AWS SDKからSTSへAssume role でロール (Step2で作成) をAssumeし、  
テンポラリクレデンシャルを取得 [aws sts assume-role]
- (オプション)動的にユーザ登録 [aws quicksight register-user]
- AWS SDKでSigned URLを取得 [quicksight:GetDashboardEmbedUrl]

## Step 4: Application page

- QuickSight JavaScript SDKでページに埋め込む
- SDKはパラメータ受け渡しやエラーハンドリングを提供する

JavaScript SDKを使った埋め込みサンプルコード

<https://github.com/aws-labs/amazon-quicksight-embedding-sdk>



# 事例 : NFL Next Gen Stats

Individual Passing Stats (Season)

| Player             | N... | Team | Season | TTT | Cmp | Att | Cmp % | Pass Yds | Pass TD | INT | Rating | Y/A | A/A | AD/A | TW % | Sep | AYTS | LCAD | QBP | QBP... | ScrYds/Att | Exp Cmp % | Cmp % Above Exp |  |
|--------------------|------|------|--------|-----|-----|-----|-------|----------|---------|-----|--------|-----|-----|------|------|-----|------|------|-----|--------|------------|-----------|-----------------|--|
| Jared Goff         |      |      |        |     |     |     |       |          |         |     |        |     |     |      |      |     |      |      |     |        |            |           |                 |  |
| Carson Wentz       |      |      |        |     |     |     |       |          |         |     |        |     |     |      |      |     |      |      |     |        |            |           |                 |  |
| Deshaun Watson     |      |      |        |     |     |     |       |          |         |     |        |     |     |      |      |     |      |      |     |        |            |           |                 |  |
| Jacoby Brissett    |      |      |        |     |     |     |       |          |         |     |        |     |     |      |      |     |      |      |     |        |            |           |                 |  |
| C.J. Beathard      |      |      |        |     |     |     |       |          |         |     |        |     |     |      |      |     |      |      |     |        |            |           |                 |  |
| Joe Flacco         |      |      |        |     |     |     |       |          |         |     |        |     |     |      |      |     |      |      |     |        |            |           |                 |  |
| Blaine Gabbert     |      |      |        |     |     |     |       |          |         |     |        |     |     |      |      |     |      |      |     |        |            |           |                 |  |
| Tom Brady          |      |      |        |     |     |     |       |          |         |     |        |     |     |      |      |     |      |      |     |        |            |           |                 |  |
| Brian Hoyer        |      |      |        |     |     |     |       |          |         |     |        |     |     |      |      |     |      |      |     |        |            |           |                 |  |
| Matthew Stafford   |      |      |        |     |     |     |       |          |         |     |        |     |     |      |      |     |      |      |     |        |            |           |                 |  |
| Russell Wilson     |      |      |        |     |     |     |       |          |         |     |        |     |     |      |      |     |      |      |     |        |            |           |                 |  |
| Derek Carr         |      |      |        |     |     |     |       |          |         |     |        |     |     |      |      |     |      |      |     |        |            |           |                 |  |
| Matt Ryan          |      |      |        |     |     |     |       |          |         |     |        |     |     |      |      |     |      |      |     |        |            |           |                 |  |
| Philip Rivers      |      |      |        |     |     |     |       |          |         |     |        |     |     |      |      |     |      |      |     |        |            |           |                 |  |
| Sean Mannion       |      |      |        |     |     |     |       |          |         |     |        |     |     |      |      |     |      |      |     |        |            |           |                 |  |
| Ben Roethlisberger |      |      |        |     |     |     |       |          |         |     |        |     |     |      |      |     |      |      |     |        |            |           |                 |  |
| Landry Jones       |      |      |        |     |     |     |       |          |         |     |        |     |     |      |      |     |      |      |     |        |            |           |                 |  |
| Kirk Cousins       |      |      |        |     |     |     |       |          |         |     |        |     |     |      |      |     |      |      |     |        |            |           |                 |  |
| Drew Brees         |      |      |        |     |     |     |       |          |         |     |        |     |     |      |      |     |      |      |     |        |            |           |                 |  |

- NFLの試合におけるリアルタイム情報
- NFL Next Gen Statsポータルに埋め込み
- 32のNFLクラブチームと、配信パートナーにリアルタイムに分析を届けている

"Amazon QuickSightとそのReader料金により、利用しやすく、セキュアでカスタマイズされたダッシュボードを全クラブチームに、サーバの運用管理無しで届けることができます。利用量に応じて支払うだけで良いのです"

*Matt Swensson, Vice President,  
Emerging Products and Technology*

# 表現力のアップデート



# テーマ

各種要素や背景、テキストの色、ボーダーの幅等を好みに合わせてカスタマイズ  
“テーマ”として保存しておくことが可能に

The image shows a screenshot of an Amazon QuickSight dashboard titled "Sales Dashboard w/QuickSight 2019". The dashboard includes several visualizations: a progress gauge, a pie chart for "Sales by State", a line chart for "Sales trend", a bar chart for "Sales by Age Range", a bar chart for "Sales by Category", and a table for "Details by Category".

Callouts with arrows point to various elements:

- Selection & hover accents**: Points to the top navigation bar.
- Sheet Background**: Points to the background of the dashboard tiles.
- Visual tile background**: Points to the background of the progress gauge.
- Data Colors**: Points to the colors used in the pie chart.
- Text Color**: Points to the text color in the line chart.
- Controls on Dashboard**: Points to the interactive controls on the right side of the line chart.
- COLOR OPTIONS**: A bracket on the right side groups the "COLOR OPTIONS" and "LAYOUT OPTIONS" callouts.
- LAYOUT OPTIONS**: A bracket on the right side groups the "LAYOUT OPTIONS" and "Gutter" callouts.
- Gutter**: Points to the space between the dashboard tiles.
- Page margin**: Points to the margin around the table.
- Visual tile border**: Points to the border of the table tile.

<https://aws.amazon.com/jp/blogs/news/evolve-your-analytics-with-amazon-quicksights-new-apis-and-theming-capabilities/>



# ダークテーマ 適用例





# 条件付き書式 (conditional format)

条件付きの書式が設定可能に

カラーグラデーションや、追加のアイコン等を指定可能

例：収益に合わせてアイコンをつける

例：達成率上位25%は青色にする

アイコンを編集する <

アイコンセット

Reverse colors

Custom conditions

条件 #1 - 値

次より大きい

値 アイコン 色

1000000    

アイコンのみを表示

それ以外

条件 #2 - 値

次の間

開始値 アイコン 色

10000    

フィールドウェル 行  地域  製品カテゴリー 列 値 昇降

販売データ 収益表

地域/製品カテゴリー別合計収益

| 地域        | 製品カテゴリー            | 収益  |
|-----------|--------------------|---|
| Argentina | Office Supplies    |  13,912,080.0765 |
| Australia | Baby Products      |  6,764,702.8826  |
|           | Beauty             |  364.5965        |
|           | Books              |  4,252,847.9484  |
|           | Business           |  348,687.6559    |
|           | Clothing           |  1,918,264.6559  |
|           | Computers          |  1,658,030.5376  |
|           | Crafts             |  7,931.0121      |
|           | Digital            |  1,252,801.941   |
|           | Electronics        |  10,468.0674     |
|           | Financial Services |  837,342.0184    |
|           | Games              |  614,605.7353    |
|           | Health             |  1,330,226.5861  |
|           | Home Services      |  179,146.6504    |
|           | Industrial         |  2,744,467.1428  |
|           | Movies             |  1,694,596.6238  |

# アクション (ワンクリックフィルタ)

## 既存のフィルタ機能

- 用意されているダイアログやパラメータに値を指定して、フィルタする

## アクション New

- ビジュアルをクリックすると、クリックされた値やディメンジョンでフィルタ
- 引数を付けてURLを呼び出す事も可能

The screenshot displays the '新しいアクション' (New Action) configuration window. The 'アクション名' (Action Name) is set to '航空会社アクション' (Airline Action). The 'アクティベーション' (Activation) is set to '選択' (Selected). The 'アクションタイプ' (Action Type) is 'フィルタアクション' (Filter Action). Under 'フィルタ範囲' (Filter Scope), '選択されたフィールド' (Selected Fields) is chosen, and 'キャリア名' (Carrier Name) is checked. Under 'ターゲットビジュアル' (Target Visual), 'ビジュアルを選択する' (Select Visual) is chosen, and 'キャンセル理由数' (Number of Cancellation Reasons) is checked. The background dashboard shows a pie chart for 'キャリア別航続時間 (総計)' (Total Flight Time by Carrier) with labels for Virgin America, AirTran Airways Corporation, Alaska Airlines Inc., Envoy Air, JetBlue Airways, SkyWest Airlines Inc., ExpressJet Airlines Inc., and US Airways Inc. The legend indicates the size represents flight time and the grouping condition is carrier.

# 新モバイルアプリ

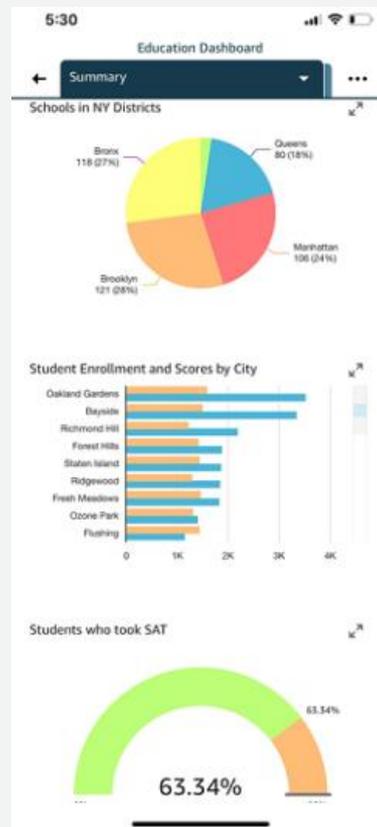
新しいモバイルアプリをリリース

iOS, Androidに対応

ダッシュボードの閲覧、フィルタ変更、ドリルダウン等が可能

フェデレーションログインに対応

Face ID等の生体認証にも対応可能

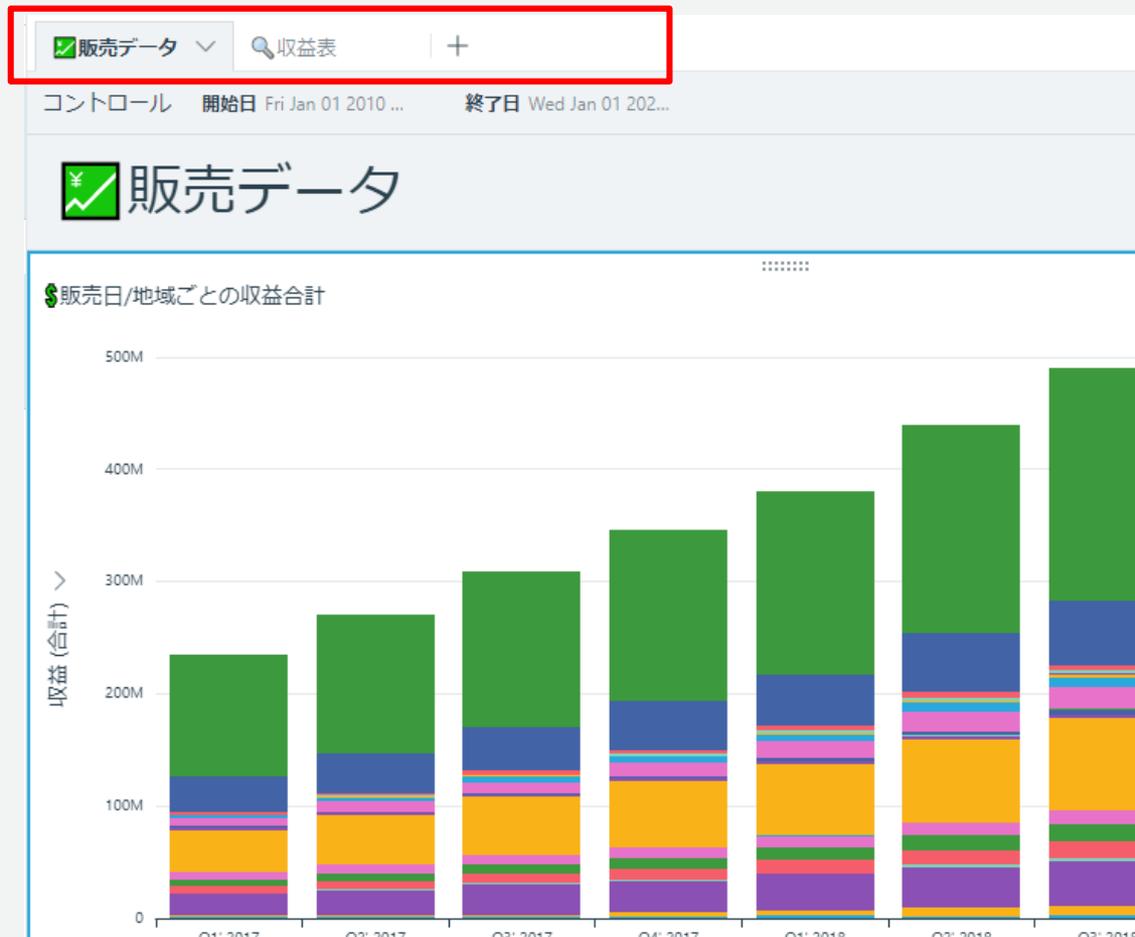


参考)

<https://aws.amazon.com/jp/blogs/news/announcing-the-new-mobile-app-for-amazon-quicksight/>

# その他の改善

- タブ切り替え
- 印刷用フォーマット表示
- トップ/ボトムフィルタ
- 相対時刻フィルタ
- タイトルの付与
- ビジュアルのコピー



# データ操作の改善



# クロスソースジョイン

複数のデータソースにまたがったジョインを実現

3つ以上のソースからのジョインにも対応

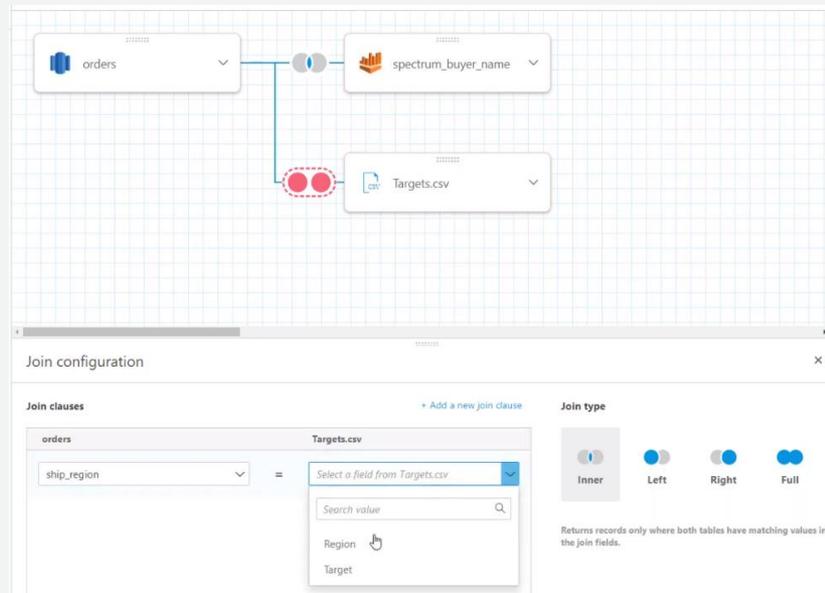
結果セットがSPICEに格納されるため、サイズに注意

SPICEでの1データセットの最大サイズ **New**

- Enterprise Edition : 最大1億行 (もしくは200GB)
- Standard Edition : 最大2,500万行 (もしくは25GB)

※SPICEの制限については以下を参照

[https://docs.aws.amazon.com/ja\\_jp/quicksight/latest/user/data-source-limits.html](https://docs.aws.amazon.com/ja_jp/quicksight/latest/user/data-source-limits.html)



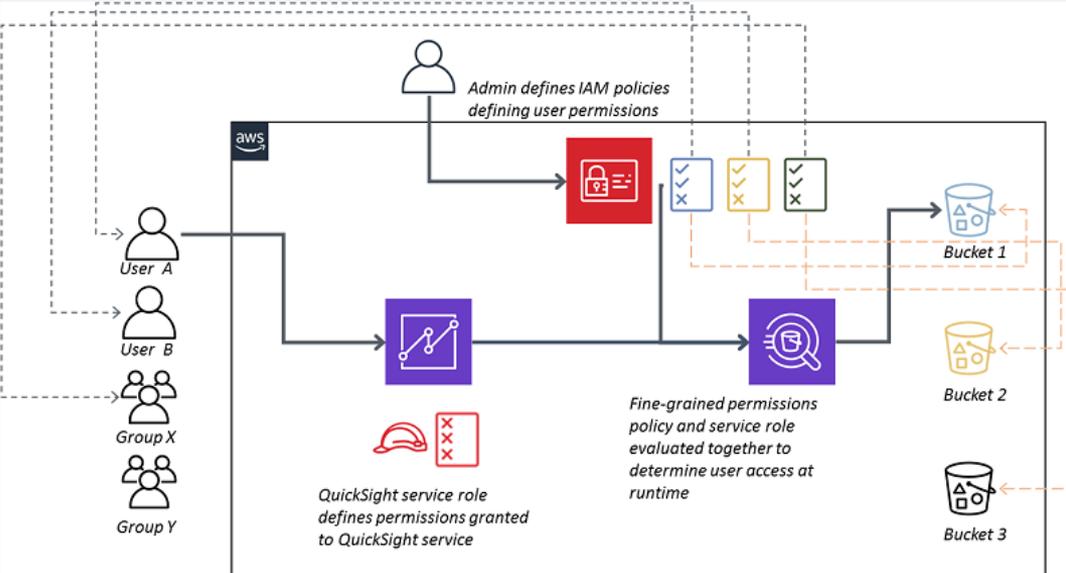
# きめ細かなアクセスコントロール (Fine Grained Access Control)

ユーザがアクセスできる  
データソースを制限する機能

IAMポリシーをQuickSightユーザや  
グループに紐付けておくと、データ  
ソースへのアクセス時に反映される

S3, Athena, RDS, Redshiftに対応

過去との互換性のため、  
デフォルト全許可の設定も可能



<https://aws.amazon.com/jp/blogs/big-data/introducing-amazon-quicksight-fine-grained-access-control-over-amazon-s3-and-amazon-athena/>



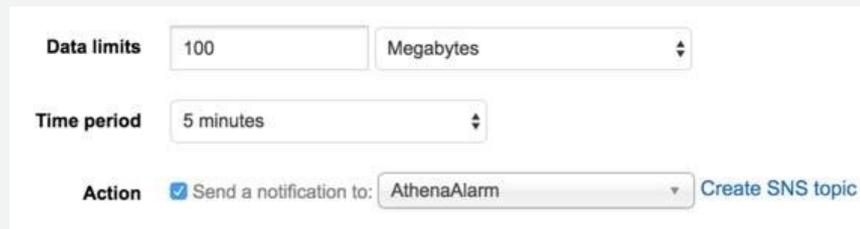
# Athena Workgroup サポート

QuickSightがAthenaのWorkgroupをサポート

Athenaデータセット作成時に、利用するWorkgroupを指定可能に

Athena Workgroupによる分離

- スキャン量の最大値等の制限
- ログや結果出力のバケットを分離等



The screenshot shows a configuration interface with three main sections:

- Data limits:** A text input field containing '100' and a dropdown menu set to 'Megabytes'.
- Time period:** A dropdown menu set to '5 minutes'.
- Action:** A checked checkbox labeled 'Send a notification to:' followed by a dropdown menu set to 'AthenaAlarm' and a blue link labeled 'Create SNS topic'.

<https://aws.amazon.com/jp/blogs/news/separating-queries-and-managing-costs-using-amazon-athena-workgroups/>

# レベル対応の集計 (LAA : Level Aware Aggregations)

表示時点の集計とは”別のレベル”で集計を行う関数  
(SQLのWindow関数に近い働き)

例) 顧客の売上合計が100,000以下は集計しない

salesPerCustomer =  
`sumOver({売上},{顧客ID},PRE_AGG)`

集計関数を適用するタイミングを指定できる

- PRE\_FILTER
- PRE\_AGG
- POST\_AGG\_FILTER

The screenshot shows the configuration for a Level Aware Aggregation (LAA) in Amazon QuickSight. The configuration panel on the left includes:

- Visual type: 一部のビジュアル
- Aggregation: salesPerCustomer (次より大きい - 100000)
- Filtering: 集計なし
- Ordering: 次より大きい
- Parameters:  パラメータを使用
- Value: 100000
- Null handling: Null を含む

The resulting data table on the right is titled "Segment別売上 (合計)" and shows the following data:

| segment    | sales (SUM)  |
|------------|--------------|
| Enterprise | 1,307,607.68 |
| SMB        | 1,797,035.68 |
| Strategic  | 705,724.96   |

<https://aws.amazon.com/jp/blogs/news/create-advanced-insights-using-level-aware-aggregations-in-amazon-quicksight/>

# APIの機能拡充

各種APIが追加

JavaScript, Java, .NET(C#), Python 3, CLI をサポート

- ユーザ・グループ操作
- データソース、データセット操作
- SPICE操作
- 埋め込み
- テンプレート
  - 事前作成の雛形と任意のデータセットを元にダッシュボードを作成

バージョン管理機能

- テンプレートとダッシュボードに対応

APIとテーマ

<https://aws.amazon.com/jp/blogs/news/evolve-your-analytics-with-amazon-quicksights-new-apis-and-theming-capabilities/>  
QuickSight CLI

[https://docs.aws.amazon.com/ja\\_jp/cli/latest/reference/quicksight/index.html](https://docs.aws.amazon.com/ja_jp/cli/latest/reference/quicksight/index.html)

[ aws ]

**quicksight**

**Description**

Amazon QuickSight is a fully managed, serverless business intelligence service for the AWS Cloud that makes it easy to extend data and insights to every user in your organization. This API reference contains documentation for a programming interface that you can use to manage Amazon QuickSight.

**Available Commands**

- cancel-ingestion
- create-dashboard
- create-data-set
- create-data-source
- create-group
- create-group-membership
- create-iam-policy-assignment
- create-ingestion
- create-template
- create-template-alias
- delete-dashboard
- delete-data-set
- delete-data-source
- delete-group
- delete-group-membership
- delete-iam-policy-assignment
- delete-template
- delete-template-alias
- delete-user
- delete-user-by-principal-id
- describe-dashboard
- describe-dashboard-permissions
- describe-data-set
- describe-data-set-permissions
- describe-data-source
- describe-data-source-permissions
- describe-group
- describe-iam-policy-assignment
- describe-ingestion
- describe-template
- describe-template-alias
- describe-template-permissions
- describe-user



QuickSightはクラウドネイティブに作られた新しい分析サービス  
メンテナンス不要、高速でスケーラブル、埋め込み、MLインサイト  
お客様のリクエストで今後も新機能を追加予定です



Native AWS  
service



No server licensing  
or maintenance costs



Pay-as-you-go



Scalable,  
fast, easy



No deployment  
time

Try it free Today @  
[Quicksight.AWS](https://quicksight.aws)

# Q&A

お答えできなかったご質問については

AWS Japan Blog 「<https://aws.amazon.com/jp/blogs/news/>」にて

後日掲載します

# AWS の日本語資料の場所「AWS 資料」で検索



The screenshot shows the AWS Japanese website header with the AWS logo, navigation links for '日本語', 'アカウント', and 'サポート', and a 'サインイン' button. The main content area features the title 'AWS クラウドサービス活用資料集トップ' and a paragraph of introductory text. Below the text are four buttons: 'AWS Webinar お申込', 'AWS 初心者向け', '業種・ソリューション別資料', and 'サービス別資料'.

aws

日本語 日本担当チームへお問い合わせ サポート アカウント

コンソールにサインイン

製品 ソリューション 料金 ドキュメント 学習 パートナー AWS Marketplace その他

## AWS クラウドサービス活用資料集トップ

アマゾン ウェブ サービス (AWS) は安全なクラウドサービスプラットフォームで、ビジネスのスケールと成長をサポートする処理能力、データベースストレージ、およびその他多種多様な機能を提供します。お客様は必要なサービスを選択し、必要な分だけご利用いただけます。それらを活用するために役立つ日本語資料、動画コンテンツを多数ご提供しております。(本サイトは主に、AWS Webinar で使用した資料およびオンデマンドセミナー情報を掲載しています。)

AWS Webinar お申込 »

AWS 初心者向け »

業種・ソリューション別資料 »

サービス別資料 »

<https://amzn.to/JPArchive>

# AWSの導入、お問い合わせのご相談

AWSクラウド導入に関するご質問、お見積、資料請求をご希望のお客様は以下のリンクよりお気軽にご相談下さい。

<https://aws.amazon.com/jp/contact-us/aws-sales/>

|   |  |
|---|--|
| <p>お問い合わせ</p> <hr/> <p>日本担当チームへのお問い合わせ &gt;</p> <hr/> <p>関連リンク</p> <p>フォーラム</p> | <h2>日本担当チームへのお問い合わせ</h2> <p>AWS クラウド導入に関するご質問、お見積り、資料請求をご希望のお客様は、以下のフォームよりお気軽にご相談ください。平日営業時間内に日本オフィス担当者よりご連絡させていただきます。</p> <p><b>※ご請求金額またはアカウントに関する質問は<a href="#">こちらからお問い合わせください</a>。</b></p> <p>※Amazon.com または Kindle のサポートにお問い合わせは<a href="#">こちらからお問い合わせください</a>。</p> <p>アスタリスク (*) は必須情報となります。</p> <p>姓*</p> <input type="text"/><br><br>名* <input type="text"/> |
|---|--|

※ 「AWS お問い合わせ」で検索して下さい。

# ご視聴ありがとうございました

AWS 公式 Webinar

<https://amzn.to/JPWebinar>



過去資料

<https://amzn.to/JPArchive>



# 補足資料



# エンタープライズエディション

組織全体にスケールする形でインサイトを共有

Author



Reader



ダッシュボードを作成して公開

**\$18**

/ ユーザー / 月  
年単位契約

\$24 / ユーザー / 月 (月単位契約)

作成済みダッシュボードを閲覧

**\$0.30** 最大で **\$5**

/ セッション\* / ユーザー / 月

\*1 セッション = ログインから 30 分間

# スタンダードエディション

小規模なチームでデータを探索・分析するのに最適なプラン

## Author

ダッシュボードを作成して公開

\$9

/ ユーザー / 月

年単位契約

\$12 / ユーザー / 月 (月単位契約)

# StandardとEnterpriseの比較

詳細は以下URLを参照

<https://aws.amazon.com/jp/quicksight/pricing/>

|   | Standard Edition | Enterprise Edition |
|---|------------------|--------------------|
| 無料作成者   | 1                | 1                  |
| 無料トライアル作成者 (60 日間)                            | 4                | 4                  |
| SPICE 搭載容量                                    | 10 GB/ユーザー       | 10 GB/ユーザー         |
| 閲覧者   | 該当なし             | 0.30 USD/セッション     |
| SPICE 追加容量                                    | 0.25 USD/GB/月    | 0.38 USD/GB/月      |
| スプレッドシート、データベース、データレイク、ビジネスアプリケーションへの接続       | ✓                | ✓                  |
| AutoGraph による容易なデータ分析                         | ✓                | ✓                  |
| 迅速でスケーラブルな可視化                                 | ✓                | ✓                  |
| インタラクティブなデータアクセス用のダッシュボードの公開                  | ✓                | ✓                  |
| SAML または OpenID Connect によるシングルサインオン          | ✓                | ✓                  |
| ウェブおよびモバイルアクセス                                | ✓                | ✓                  |
| 詳細情報へのドリルダウンおよびフィルターのカスタマイズ                   | ✓                | ✓                  |
| AWS CloudTrail による監査ログの有効化                    | ✓                | ✓                  |
| 閲覧者ロール  |                  | ✓                  |
| メールレポート                                       |                  | ✓                  |
| プライベート VPC およびオンプレミスのデータへの安全なアクセス             |                  | ✓                  |
| 行レベルのセキュリティ                                   |                  | ✓                  |
| SPICE データの 1 時間ごとのリフレッシュ                      |                  | ✓                  |
| 保管中のデータの安全な暗号化                                |                  | ✓                  |
| Active Directory への接続                         |                  | ✓                  |
| Active Directory グループの使用                      |                  | ✓                  |
| API   |                  | ✓                  |
| ダッシュボード埋め込み                                   |                  | ✓                  |
| ML インサイト                                      |                  | ✓                  |
| プログラムによるダッシュボード作成用テンプレート                      |                  | ✓                  |
| ダッシュボードカスタマイズのテーマ                             |                  | ✓                  |
| AWS データソース (S3、Athena など) に対するきめ細かなアクセスコントロール |                  | ✓                  |
| SPICE データセットごとに 1 億行のデータ                      |                  | ✓                  |